

今、住民投票？ コロナ対策の強化にこそ力をいれてほしいです!!!

コロナ渦で、
学童保育の現場は
どうなのでしょう
か？



指導員の声

新型コロナウイルスで、小学校が休校となり、3ヶ月半は、朝から晩まで働く日が多く、長時間労働が続きました。「いつ倒れてもおかしくない」「自分が感染していて、子どもたちに感染させてしまうかもしれない」という不安は、今も続いています。

自分が感染しているかもしれないという状況になった場合、すぐにPCR検査を受けることができる体制をつくってほしい。

新型コロナウイルス感染対策を強化し、学童保育に通う子どもや、預ける保護者が安心して生活できる環境づくりを現場と一緒に考えてほしいです。

こどもの声

「はじめ学校休めてうれしかったけど、先生と友達と会えなくてさみしい。」

「勉強どこしたらいいかわからないし、ヒマやから家で、ずっとユーチューブ見てた。本当は外で思いっきり友達と遊びたかった。」

「学童で楽しみにしていたキャンプも中止になった。学童の行事なんもできひんの？」

「早く、コロナウイルスがなくなりますよーに！」



保護者の声

「非常事態宣言で、仕事が休業になり、収入が減って生活が大変です。保育料を払うのも厳しい状況です。」

「リモートワークになり、感染予防として、学童を自粛し、子どもと一緒に過ごしたけど、仕事にならないし、大変でした。」

「保護者会が開催できなくて、保護者同士のつながりも今年はどうしていったらいいかわからず、運営面と、コロナ感染に関しては、子どもを預ける保護者としても不安がいっぱいあります。」

大阪市には、コロナ感染対策に力を入れて、現場の声を聞きながら、一緒に取り組む体制を作してほしいです。

